

感謝込め あす最終回

エフエム秋田「シャンソンをあなたに」

パーソナリティー黒崎、放送1336回

「情熱は消えない」

1985年のエフエム秋田開局と同時にスタートし、根強い人気を得てきた番組「黒崎昭二のシャンソンをあなたに」(土曜午後8時)が、24日の放送で最終回を迎える。番組は最終回で1336回。本県のシャンソン普及に努めてきたパーソナリティーの黒崎昭二(84)は「多くのファンのおかげで続けてこられた。本当にありがたかった」と感謝の気持ちを語った。

「この番組で最後の放送です。心を込めて皆さんにお送りします」。21日に同局で行われた収録冒頭、黒崎は最終回であることを告げた後、普段通りの優しい語り口でシャンソンの名曲を次々と紹介した。最終回で紹介するのは、小川ロンが歌う「菊」、渡部正昭(男鹿市出身)の「枯葉」(帰

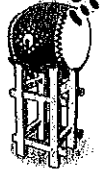
れる役割も果たしてきた。ことし7月下旬に脳梗塞を患い、2カ月間番組を休んだ。黒崎は家族やエフエム秋田の担当者らと話し合い、体調を考慮して番組を終了することを決意。最後の収録には県内のシャンソン愛好者15人が駆け付け、収録後、黒崎に花束を手渡した。黒崎は「番組は終わるが、シャンソンへの情熱は消えない。これからゆっくり好きな曲を聴いていきたい」と話していた。(猪俣光太郎)



最終回の収録に臨む黒崎(左) 秋田市八橋本町のエフエム秋田

揺るがない絆

被災地の伝統は今



= 下 =

れソレントへ」、アダモの「思い出の小川」など計13曲。黒崎がこれまでの放送で思い出に残っている作品の中から厳選した。黒崎は秋田工業高校卒業後、東北電力に就職し、職場の先輩の影響でシャンソンに興味を持った。1955年に「秋田シャンソン友の会」を結成。ラジオでシャンソンの素晴らしさを伝えようと、会社勤務の傍ら、65年からABSラジオの番組「パリの町から」でDJ活動を開始した。

その後、NHKFMのローカル番組「夕べのひととき」を経て、「黒崎昭二のシャンソンをあなたに」がスタート。同番組はスタジオ収録に加え、年1回、ゲストを迎えて秋田市文化会館やアトリオン音楽ホールなどで公開収録を実施し、シャンソン愛好者のすそ野を広



林隆三が朗読公演

30日 宮沢賢治の童話披露

「林隆三と楽しむ『賢治 童話の世界』」が、30日午後6時半から秋田市のアトリオン音楽ホールで開

芸能 エンタメ

×モ

黒森神楽

岩手県宮古市の黒森神社の別当が主宰し、山伏によって傳承されてきた。大鼓や笛、手平鉦(てびらがね)のにぎやかな演奏に合わせて、面を着けた神楽衆がさまざまな舞を見せる。1〜3月に宿を取りながら沿岸をめぐる「巡行」が特徴。国の重要無形民俗文化財。

先日、秋田市の華らまいてしまいまら、近くにいたおぼ捨つのを手伝って、田人の優しさにまよりました。前に東京へ来た時は、誰一人手伝ったこともありません。大阪のりです。大阪のり拾ってくれるけど、そのまま持って帰るところ(汗)。

そんな秋田の人や喜んでもらえるよ。ちやに掛けて送ります。先日、秋田独演会には200人からね(汗)。

SJK

(民俗学・演劇学)は

の震災で「地域の再建衣食住の整備など」と同じ、祭り、芸能が大変気付いたという。

